

ディスクロージャー誌2023「高知銀行の現況」の一部訂正について

平素より高知銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

さて、このたび当行が発行いたしましたディスクロージャー誌2023「高知銀行の現況」（企業情報編）の記載の一部に誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

記

【訂正箇所と内容】

- 「リスク管理の状況」の26ページに、以下の説明を追加いたしました。

標準的手法が適用されるポートフォリオに関する事項

リスク・ウェイトを算出する際に使用する格付機関は、株式会社格付投資情報センター（R&I）、株式会社日本格付研究所（JCR）、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク（Moody's）、S&P グローバル・レーティング（S&P）の4社を採用しており、国内法人等向けエクスポージャーには、R&I、JCR を適用し、海外法人等向けエクスポージャーには、Moody's、S&P を適用しております。

- 「リスク管理の状況」の27ページを、以下のとおり訂正いたしました。なお、訂正箇所には下線を付しております。

（訂正前）

証券化エクスポージャーに関する事項

当行では、証券化商品への投資は市場金融部で実施しております。そのためのリスクを認識し、評価・計測等のモニタリングを行い、担当取締役等経営陣への報告を行う態勢としております。

また、当行以外がオリジネーターとなっている証券化商品を投資家として保有することがあり、その場合「金融商品会計に関する実務指針」等に従い、適正に会計処理を行うこととしております。

証券化エクスポージャーの信用リスク・アセットの額は「外部格付準拠方式」ならびに「標準的手法準拠方式」により算出しております。

（訂正後）

証券化エクスポージャーに関する事項

当行では、証券化商品への投資は市場金融部で実施しております。そのためのリスクを認識し、評価・計測等のモニタリングを行い、担当取締役等経営陣への報告を行う態勢としております。

また、当行以外がオリジネーターとなっている証券化商品を投資家として保有することがあり、その場合「金融商品会計に関する実務指針」等に従い、適正に会計処理を行うこととしております。

証券化エクスポージャーの信用リスク・アセットの額は「外部格付準拠方式」ならびに「標準的手法準拠方式」により算出しており、リスク・ウェイト判定には、R&I、JCR、Moody's、S&Pの4つの適合格付機関を利用しております。なお、証券化エクスポージャーの種類に応じた適合格付機関の使い分けは行っておりません。

以上